



令和6年 2月 7日

岩倉市議会

議長 関戸郁文 様

堀江 珠恵

財政集中講座（地方議員研究会）報告書

このことについて、下記のとおり受講しましたので報告いたします。

記

- 1 実施日 令和6年1月23日（火）～令和6年1月24日（水）
- 2 研修先 リファレンス大阪駅前第4ビル貸会議室
- 3 復命事項
別紙のとおり

「財政集中講座」報告書

【主な内容】

① 自治体財政の基礎

・**財政がわかりにくい理由**：予算書も決算書も「性質別」になっており、「事業別」ではない。事業ごとにいくらかかっているのかわからない。用語も独特である。企業（発主義）との違いは、行政は現金主義、つまり現金の支出と収入があった時点で金額を計上している。

⇒事業別の予算書、決算書ができると、事業がまたがっている事もあり、事業が把握しやすくなる。

・**議員が知っておくべきこと知らないで良いこと**：議員は政策の決定・市民の代表であり、活動への監督、説明責任であり、職員は、政策の執行、技術的な専門性や日々の業務でありそれぞれに役割が違う。

足りないお金は国から貰えるのが、地方交付税（一般財源と同じように使える）
基準財政収入額が多くなると、地方交付税は少なくなっていく。つまり自治体のみで賄えているという意味。

国庫支出金は事業が決まっており、その事業にしか使えないお金。⇒生活保護は3/4が国から交付されている。1/4を自治体が負担。

財政調整基金の役割は、一般的には、標準財政規模の10%程度が適正。今は積み立てすぎと言われている。

・**財政の仕組みを理解する**：毎年10月ごろに「予算編成の基本方針」がある。

・**あまり知られていない財政の基礎的な課題**：長期的な財政の見通しが公開されていない。国からの補助金は「初期コスト」に偏重している。将来人口のビジョンが甘く推計していることが多い。予算がどのように編成されているか、あまり公開をされていない。

② 決算カードの見方

・**決算カードとは？**：特徴として、一枚にまとまっていて、市町村間の比較もしやすいが、出るのが遅いのが難点。

・決算カードには、見る順番がある。

③ 財政の比較の手法

・**財政比較の資料**：類似団体比較カードと財政状況資料集がある。

同じ条件で比較することで、自分の自治体が適正であるかの比較がしやすい。

④ 財政問題の質問のポイント

議員は細かい制度の理解ではなく、おかしいときに指摘できることである。例えば、黒字と言っているがもし借金が増えていたら指摘しないといけない。

他と比べて、高いが安いかを確認する必要がある。高いのが一概に悪いわけではなく、説明を聞く必要がある。

長期（中期）財政計画があるなら、出してもらおうとよい。

財政危機に陥るにはパターンがある。基金の取り崩しには要注意！ただし計画的に取り崩しはOKです。

【所感】

調べてみると岩倉市は、性質別の予算書・決算書になっていた。事業別のほうが審議しやすくなるとのことだが、岩倉市では、わかりづらいが事業別になっていた。また、財政調整基金は、10%程度になっており、国から言われている積み立て過ぎではないことが、決算カードから見てもわかった。決算カードでも、つつい支出（歳出）から見てしまいがちではあるが、収支同時にみることが大事で、岩倉市の財政状況の全体を令和3年度のものしかまだ見れないが、過去を把握することで、今後の予算審議にも活かしていきたい。

決算カードをみて、他市町と比較すると岩倉市の財政状況が把握できたのは、すごくよかった。この財政状況のなかで、質問するポイントを教えてもらったので、子育てや介護問題、教育問題への質問に活かしていきたい。